



国土交通省



熊本県



球磨村

復興まちづくりへ向けた取組み

問合せ先 球磨村役場 復興推進課
0966-32-1114

一勝地地域では1月末までに、行政8区および12区で地域別協議会が開催されました。以下は、復興まちづくりに関して出された意見の一例です。

行政8区

橋詰

- ・災害時、球磨川へ下る道も三ヶ浦へ上る道も通行止めになった。
- ・公民館は斜面災害の危険性があるため、避難場所としては不適當。

友尻

- ・被災時にはどの方向にも逃げられない状況に陥る可能性がある。
- ・ガード下の道路を改善して欲しい。

宮園

- ・湊田酒造の横、山側から水が流れてくる。また、高架下に水が溜まるので地区内の各所に避難する。

行政12区

池下

- ・被災時、集落内に車を避難させる安全な土地があるといい。

小谷

- ・砂防ダムを越えて土砂が流入したため、河川が氾濫した。ダム建設後の管理方法に課題がある。

淋

- ・ヘリポート整備予定地に高台避難所、または避難タワーを建設してはどうか。

大坂間

- ・球磨川に入る2本の支流の復旧作業が上流の砂防工事との関係で未完了のため、少しの雨でも水が溢れる。

向淋

- ・土砂災害や浸水により、孤立の可能性があるので、何日か分の食糧備蓄が必要。
- ・避難所となっている公民館の老朽化が心配。

松本

- ・水道を小谷から引いている。今後の管理について、地区では難しい。
- ・落石防止、急傾斜対策を考えて欲しい。

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.11



復興まちづくりへ向けた取組み

問合せ先 球磨村役場 復興推進課
0966-32-1114

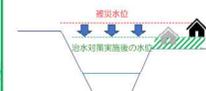
渡西・一勝地・三ヶ浦地区 復興まちづくり計画骨子

- 流域治水プロジェクトと連動した輪中堤・宅地かさ上げ事業の速やかな実施
- 今後、協議会を通して、**一勝地駅を中心とした賑わい創出に向けた取組みを地域住民と検討**

1. 基本方針

- 流域治水プロジェクトと連動した輪中堤・かさ上げ事業を実施
- かさ上げの高さについては **治水対策実施後の水位**とする

<かさ上げイメージ>

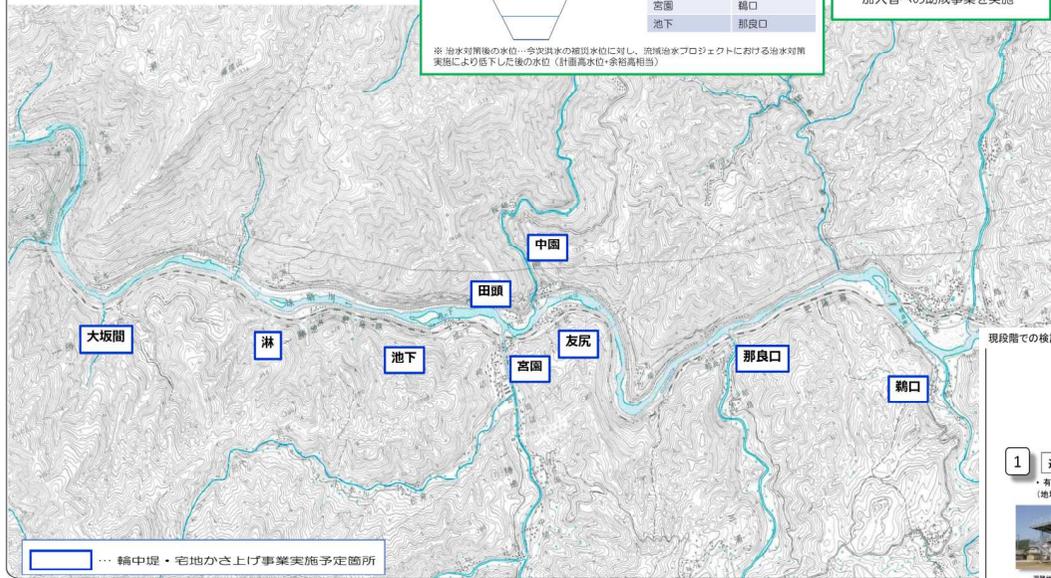


※ 治水対策後の水位…令和2年7月の豪雨による浸水被害の経験値を参考に、流域治水プロジェクトにおける治水対策実施により低下した後の水位（計画高水位・余裕高相当）

2. 避難対策・ソフト対策

- まちづくりと併せ、今後の災害に備えた、防災力の強化
- 地域別協議会等で出された意見を参考に箇所を設定し、かさ上げ事業等と並行して早期着手を目指す
- ソフト対策として、水害保険加入者への助成事業を実施

対象地区（計9箇所）	
中国	淋
田頭	大坂間
友尻	鴨口
宮園	池下
那良口	



現段階での検討案であり、確定ではありません。

地域の意見を踏まえ、9月28日の復興まちづくり計画説明会では一勝地地区まちづくり骨子案（左）および復興イメージ図（下）をお示しました。

一勝地地区の復興イメージ図

一勝地地区まちづくり骨子案

かさ上げの高さである「対策後水位」において、流域治水完了後には、令和2年7月豪雨と同程度の雨量があっても超えない想定です。

しかし、流域治水が完了するまでには多くの時間を要することから、避難路・避難場所、地区防災計画、水害保険の加入促進などのソフト面での事業を進めていきます。

治水事業と一体となった安心・安全なまちづくり

令和2年7月豪雨により被災された住民の皆さんが、安心して生活を再建できるように治水事業と一体となった、まちづくりを進めます。

- 1 避難場所の確保 (R4~)**
・有事の際に住民が避難できる施設の整備。
(地域別協議会にて検討)
- 2 住まいの確保 (R3~R5)**
①災害公営住宅の整備による住まいの確保。
②建設位置は、大規模水害を想定した高さを考慮。
- 3 輪中堤・宅地かさ上げ事業 (R3~概ね5年)**
・球磨川緊急治水対策プロジェクトと連携した宅地かさ上げを実施。
かさ上げ箇所箇所

ジャッキアップイメージ
- 4 にぎわいの創出(拠点施設の整備検討)**
・災害により失われた買い物拠点再建や駅前のにぎわいの創出

(にぎわいの拠点施設の整備)
・一勝地駅光景の復元を基盤として一勝地駅前ににぎわいの創出。



資料2



復興まちづくりへ向けた取組み

問合せ先 球磨村役場 復興推進課
0966-32-1114

復興まちづくり計画骨子を具体化した、現時点での復興まちづくり計画(案)は以下のとおりです。地域別協議会を開催した行政第8区及び第12区の住民に対し、個別に送付し、意見を募集しております。

一勝地地域
復興まちづくり計画

一勝地地域では、下表や右図のように【くらし】、【そなえ】にかかわる事業を進めていきます。図中の事業の説明文字の色は、事業の段階などで、**現在進行中の事業**、**流域治水事業**、**検討中・今後検討する事業**の色別に示しています。

なお、一勝地駅周辺の村有地等の活用については、今後、村民や民間事業者と連携しながら検討を進めていく予定です。

一勝地	【くらし】	災害公営住宅 ・永崎団地隣接地 (R5年5月入居予定)
	【そなえ】	流域治水の推進 ・輪中堤・宅地かさ上げの実施 (友尻、宮園、橋詰、田頭、中園、池下、淋、大坂間)
	防災拠点	・一時的な避難場所の検討(避難所が被災した球磨川沿川の各集落)



一勝地地域 災害公営住宅
・R5年5月入居開始予定

※ 公営住宅の図は、現時点の整備イメージ図です。

